

パブリック・コメントの回答について（追記）

「使用料・手数料等の見直しについて」のパブリック・コメント募集手続きについては、令和6年7月1日から7月31日まで募集し、6名から6件の意見が提出されました。いただいた意見と市の考え方は、以下のとおりです。

いただいた意見の要旨	市の考え方
1 今回の値上げにより交流センターで行われている講習会場が市外に変更になる可能性があり困惑している。いきなりの30%値上げではなく、もう少し順を追って値上げするなり再検討を強く希望する。	使用料・手数料等の見直しについては、多治見市健全な財政に関する条例の規定に基づき、適正な料金となるよう4年ごとに定期的に見直しを行っています。 前回の見直しは物価高騰の影響があったものの、コロナ禍における市民生活への負担増を抑えるために料金を据え置いたこともあり、今回の見直しでは、8年分の物価変動を受けた大幅な値上げが必要となります。 この大幅な料金改定による利用者への負担急増を抑えるため、激変緩和措置として現在料金+30%を上限としているものです。
2 交流センターの使用料がエアコン代を合わせると、より本格的な近隣市施設より高額となる。近隣の高齢者の健康維持等のためのサークル活動で参加費も安いため、値上げによりサークル活動が維持できなくなる。もう一度検討してほしい。	見直し後料金の算定においては、施設の維持管理等に必要なコストをもとに計算した後、市内及び市外の同種施設との比較検討も行いましたが、維持管理等コストが大きな施設については、市外の施設の料金よりも料金案が高額となることがあります。
3 より優れた他市施設の使用料よりも交流センターの使用料が高くなってしまうことで、サークル活動が中止になることを懸念している。高齢者の健康維持についても考えてほしい。	この場合、比較した施設に比べて規模や設備が著しく劣るような場合を除き、適正な受益者負担となるよう値上げすることとしました。 なお、冷暖房使用料を部屋の料金に含めるか否かについて、自治体によって料金の設定方法は異なります。本市ではコスト増分を受益者に負担していただくこととしました。
4 交流センターの部屋の使用料金の値上げにより、講習参加者の負担金上がるため反対である。	

5 市民の健康や楽しみに対してこれ以上の負担をさせないでほしい。星ヶ台にお金を使いすぎではないか？	今回の見直しは、施設の維持管理費等に係る公費負担分と利用者負担分とが適正な金額となるよう、定期的に施設の料金の見直しを行っているものです。 燃料費の高騰による光熱費の増加や、物価及び人件費の高騰による施設の管理費及び修繕費の増加にも関わらず、その全てを公費で負担することは、施設を利用しない方にも負担いただくこととなり、負担の公平性を欠くこととなります。 なお、市内の公共施設については、公共施設等総合管理計画を策定し、今後の財政状況や利用需要の変化を踏まえた長期的な視点から整備を行っています。
6 時節柄値上げも致し方ないと思うが、部屋によって割合が異なるのは理解し難い。	施設の総コストから計算した $1\text{ m}^2 \cdot 1\text{ 時間}$ 当たりのコストに部屋の面積を乗じて計算上の料金を算定し、近隣市等の料金と比較した上で見直し後料金案を作成しているため、部屋の面積等によって値上率は異なります。